

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 和		
○保護者評価実施期間	2025年2月3日		～ 2025年3月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2025年2月3日		～ 2025年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育と小集団での療育を必ず両方を行っている。(児童一人一人が、安心出来る環境を提供) また、事業所内での交流ではなく知らない同年代の子供と関わることが出来るよう外出なども実施している。	個室にて個別療育を少なくとも30分以上実施している。 小集団活動も30分以上は必ず行っている。 毎月、おやつ作りや外出支援も実施している。	有資格者や経験者を多く配置。 保育園・幼稚園との関わる機会を設けたい。
2	保護者勉強会と交流会を毎月実施し、発達とは何か?などを分かりやすくお伝えしている。また、保護者の不安や悩みを聞き、助言を行っている。	必ずあるふあみのライン(連絡ノート)にて、写真を添えて個別療育と小集団活動の内容やお子様の様子を出来るだけわかりやすくお伝えしている。	毎月の保護者勉強会や交流会に、出来るだけ多くの保護者様に参加して頂く。
3	関係機関(保育園・幼稚園・相談支援事業所等)と定期的に集まり、ケア会議を実施している。	出来るだけ通わせている児童全員のケア会議が出来るように日程を調整している。	幼稚園や保育園に通われていない児童に対し、幼稚園や保育園に通うことが出来るよう、児童の成長の支援を行うだけでなく幼稚園や保育園との連携を継続して行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	午前と午後の部に分かれて療育を行っている為、午前と午後のスタッフで話し合いの時間がなかなか持てない。	午前と午後のスタッフで話し合いの時間がなかなか持てない為、情報共有が難しい。午前・午後の部で児童がいない時間帯がない。	2025年度より、支援員との面談の時間を個別で設ける。
2	活動ルームのスペースが限られている。	建物の作りの、柱などがあり走る回るなどが出来るスペースがない。	天気の良い日などは、近くに公園等にて思いっきり体を動かせる時間を設ける。
3			